

2学期を終えるにあたり

みぞれ交じりの雨が降る日々が続きます。平素は聖母の小さな学校の教育に、格別のご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本日12月23日、令和4年度2学期の終業式を迎えます。今学期も6名の通学生と8名の相談生が在籍しました。通学生の内2名は原籍校に戻りました。本校の教育は、本人や家族が予期しなかった不登校状態になり、原籍校（即ち、本人にとっての「社会」）と関係が結ばなくなる、または切れてしまうなど、絶たれた関係になったところから、再びそこに「橋を架ける」あるいは関係が希薄だった社会へ「橋を作る」作業を手伝う事と言うこともできます。その作業は、社会＝学校だけでなく、自分自身と、また、家族や他の人々など、あらゆることに及びます。それを本校では、「和解」と考えています。「和解」には、人間の心の奥からの喜びがあります。

今の自分を知ることは、「自己との和解」に繋がります。人とつながる力や家族関係の変化は、「他者との和解」、社会へ橋を架けようとする事は、「社会との和解」です。本校では、一人ひとりがその和解へのプロセスをたどる日々を送ります。引きこもりがちで月に1、2度の登校、また、週3日10分の登校、ようやく毎日の登校と、それぞれが「和解」へのプロセスであり、価値あることです。変化がないと嘆くのではなく、その「立ち止まり」の時を、プロセスを生きるという視点から「見つめ」てみたいと思います。

その生徒を「見つめる」というのは、その生徒に時間をかける事であり、手を伸べる事であり、心をかけるという目に見えない事につながる事です。本校では、2学期もそのプロセスをたどるカリキュラムを生徒一人ひとり違う形で実施してきました。基礎的教科学習の他に、学校体育、音楽（ギター教室）、華道などの通常体験学習を行いました。中断していた陶芸教室が再開できたのは、嬉しいことでした。指導は、日展作家であり舞鶴市陶芸館館長の高井晴美先生です。生徒たちに心を寄せた指導をしていただいております。生徒たちも楽しみに参加するようになりました。

また、コロナ禍で中断しておりました「創立30周年記念企画 鯖街道を歩く」が再開できたことも、大きな出来事でした。第3回を11/3、第4回を12/3に実施し、全行程「京は遠ても十八里（72km）」の半分まで歩いたこととなります。続きが楽しみ



11/29 陶芸教室



12/3「鯖街道を歩く」第4回

です。

また、生徒たちは 11 月の釣り大会も楽しく体験しました。準備の大変さ、釣れた時の驚きに満ちた楽しさ、それを家で家族で料理をしたうれしさ、食べたおいしさ等、すべてが家族をつなぎました。

10月の第27回「スポーツフェスタ(体育祭)」では、多くの方々の励ましを受け、勇気を得ました。

多くの方々に支えられ、2名の生徒が原籍校に戻り、また週1日登校の生徒は、もう少し通おうと思えたり、週2、3日の生徒は、今の私は聖母が通いやすいし、安心できるし、ここでがんばりたいと言えるようになりました。また、毎日通学できるようになった生徒は、職場体験を4日間いたしました。



12/21 クリスマス会

社会規範や自己を律することなどを学びました。少しずつですが、社会との和解に向かっていきます。

今学期も多くの先生方にお世話になりました。

<今学期お世話になった先生方>

陶芸(高井 晴美 先生) 体育(渡邊 弘 先生)
華道(山中 知昌 先生) 音楽(北浦 弘治 先生)
社会・校外学習(山下 正 先生) 理科(中岡 通 先生)
校外学習(大久保 喜基 先生・笠原 昌明 先生・岩見 由美子 先生・川田 美佳 先生)
ウズベキスタン文化(アシルベク先生)

今学期もありがとうございました。そして、どうぞ良いお年をお迎えください。

<冬休みの予定>

月日	曜	主な行事	月日	曜	主な行事
12/22	木		1/1	日	元旦
23	金	2学期終業式 市内小中学校終業式	2	月	
24	土	— 冬休み —	3	火	学校閉校日
25	日		4	水	〃
26	月	小中連絡会・面談日	5	木	小中連絡会
27	火	〃 ・ 〃	6	金	〃
28	水	〃 ・ 〃	7	土	面談日
29	木	学校閉校日	8	日	
30	金	〃	9	月	成人の日
31	土	大晦日	10	火	3学期始業式 9:30~11:00 市内小中学校始業式